

JOINTS CUSTOM B... HOW2016出展車両が続々登場!!

CHOPPER

JUL 2016

30

All About American Hot Rod
and Custom Motorcycles

Journal

2016年7月号

チョッパー・ジャーナル 2016年7月27日発行第6巻30号(通巻30号)

特別定価!
¥1,200



写真: Visual Press Agency/アフロ

巻頭特集 CHOPPER Journal Report

Choppers In Movies

銀幕の中のチョッパーたち

EASY RIDER / The Wild Angels
Harley Davidson and the Marlboro Man
HIGH & LOW THE MOVIE etc...



Custom Bike Archive

カスタムバイク・アーカイブ



ドイツのサンダーバイク・カスタムをインスパイアした車体。ホイールはフロントに23”、リアに21”、260のワイドタイヤを履く。

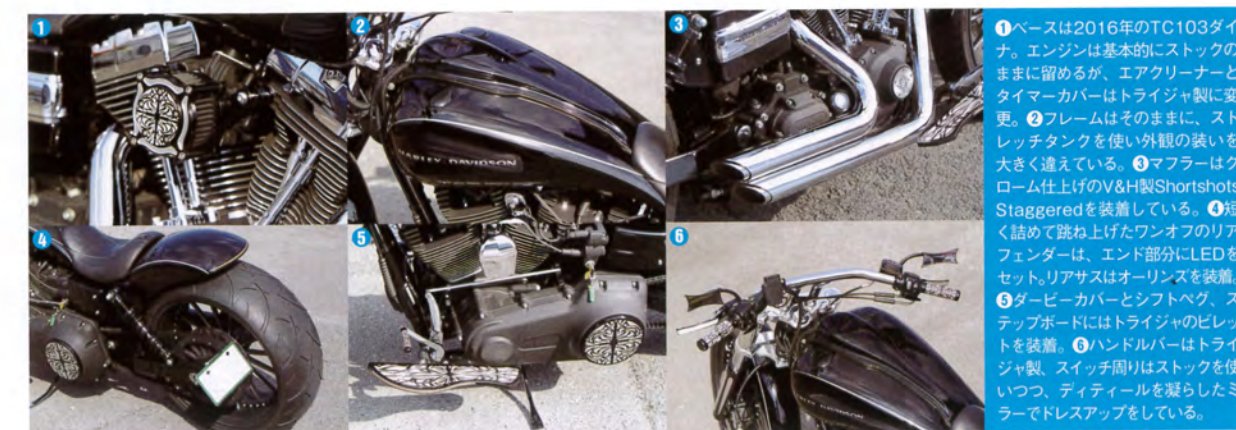
TRIJYA L.O. Diameter

文=黒川鏡仁 text by TED KUROKAWA 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=トライジャ phone 072-970-3110 <http://trijya.com/>

ダイナグライドのメインフレームとエンジンはほぼそのままに、主にボルトオンのパーツをセレクトして創られたこのスタイリッシュなカスタムは、大阪のショップ、トライジャによって仕上げられたものだ。その最大の特徴となるのは、前後に組み付けられたドイツのThunderbike Customs製のホイール周り、そのサイズはフロント側で23×4.5J、リア側で21×9Jを履き、それぞれに130/60R23と260/35VR21のメッツラー製のタイヤが選択されている。

特にリア周りはThunderbike製のスイングアーム・キットを組んでの大掛かりな変更となるものの、その骨格、ルックスはご覧のとおり、非常に洗練されたものだ。

また、外装に関してはトライジャによるワンオフ、或いは既製品に二次加工を施したものを使っているが、その全体のセットアップは、内容的には激しいカスタムながらも、思いの外シックな装いでフィニッシュ。その大人びた佇まいの在り方は、まさに“粋”と云う他ないだろう。実に見事だ。



①ベースは2016年のTC103ダイナ。エンジンは基本的にストックのままに留めるが、エアクリナーとタイマーカバーはトライジャ製に変更。②フレームはそのままに、ストレッチタンクを使い外観の装いを大きく変えている。③マフラーはクロム仕上げのV&H製Shortshots Staggeredを装着している。④短く詰めて踏ね上げたワンオフのリアフェンダーは、エンド部分にLEDをセット。リアサスはオーリンズを装着。⑤タービーカバーとシフトペグ、ステップボードにはトライジャのピレットを装着。⑥ハンドルバーはトライジャ製、スイッチ周りはストックを使いつつ、ディティールを凝らしたミラーでドレスアップをしている。

GIVE YOU AN AWESOME STUFFS IN JAPAN, JUST FOR YOUR CHOPPER LIFE! New Products for CHOPPER FREAKS

桜も散り、夜でも気持ちよく走れる季節がいよいよ到来。そこで、今号ではこれからの時期に向けた国内外のサマーウェア、クールに着飾るカスタムパーツをドカンと紹介。是非ともお気に入りのプロダクトを見つけ出して欲しい。

18金フェザーにて飾られたファーストアローズ新作

FIRST AROOW'S

☎ 03-3479-8818
http://www.first-arrows.com

フェザーアクセサリーの重鎮・ファーストアローズから、18金フェザーでデザインされたニューアイテムが登場。K18 フェザー付バングル(36,800円/8ミリ)、K18 フェザー付リング(32,800円/8ミリ)。オールK18XS フェザーチャームピアス(23,800円/高さ18×幅6ミリ/1個)、オールK18XS フェザーチャーム(22,800円/高さ18×幅6ミリ/1個)はフェザーが左向きと右向きが有り。また、比較的安値で設定されている、同デザインのシルバーもリリース中だ。さらに、今年20周年を迎えたファーストアローズでは、シリアルナンバーが刻まれた限定発売のストレートフェザーなど、アクセサリー好きにはたまらないリミテッドアイテムが多数リリース中。詳しくは問い合わせ、またはホームページを参照アレ。



塗り込むだけで抜群の防水効果

ビーズ屋公ちゃん。

☎ 052-823-5900
www.bead-ya.com/

革製品の大御所、ビーズ屋公ちゃんから同店イチオシの皮革用防水剤サブライム(3,996円)がリリース。この製品は薬品研究機関と共同開発した皮革用防水剤で、塗布するだけで驚異の防水性能を発揮。また紫外線を通すため、これまで通りエイジングを楽しむことができる。より防水効果の高いハイスベック(5,724円)もあり。



レーシーさを演出するゼッケンプレート

AN-BU

☎ 052-776-0651
www.an-bu.jp/



オリジナルパーツを幅広く展開するアンプの新製品は、アルミ製汎用ゼッケンプレート(3,240円)。厚さ2ミリのアルミ製で、サイズは直径が約2100ミリ×幅が約2400ミリとフロントにもサイドにもちょうどよい、使いやすいお手頃なサイズ感。自分のチョッパーのデザインに合わせて、自身のアイデアで好きなところに取り付けよう。また嬉しいことにアンプでは、取り付けステーの製作や穴あけ加工、ペイント等も承ってくれるとのことなので、詳細はホームページまたは問い合わせにて。

本場アメリカグラフィックの最前線

CYCLE TRASH

☎ 023-625-7108
www.cycletrash.net/



Show class magのカバーアートなども手掛けるフロリダのブランド・The V.N.M.から新作が続々登場。ビンテージハーレーTのデザインをパロッドというカンヘッドイーグルデザインのキャップ(4,320円)とパーカー(9,720円)。パッチは左下の大判白黒のライダーマン(1,512円/H15センチ)と、他5種類はすべて756円。ショウクラスマガジンの撮影を担当するティム・オキープによるフォトマガジン・スタッグマガジン(3,672円)が再入荷。カラー40ページで見ごたえあり。オリジナルのフォート(3,888円)も発売中。

人気のデニムベストが再入荷

ViSE

☎ 052-323-2213
http://vise22.com/



チョッパーウェアを広く展開する名古屋のバイセで人気のオリジナル・クロスデニムベストが7月に再入荷決定。デザインはフォーストモデル(右)とセカンドモデル(左)があり、共に21,600円(S~XL)で、カラーはブルーとブラックの2色展開。表地は人気のレッドテイル・オリジナルデニムパンツと同じの厚手のブルーデニム地を使用しており、ボタンはすべてオリジナルのシルバー製。また、フロントボタンの両サイドには、アイアングロスの刺繍が施されている。詳細はホームページを参照。

豪華にマシンを彩る ハイクオリティパーツ

TRIJYA

☎ 072-970-3110
http://trijya.com/



ハイクオリティなカスタムパーツを展開するトライジャより新製品。ソフトイル用VSRナンバーサイドマウントステータスLED(39,960円/ブラック・クローム)は縦横に可変するサイドナンバーマウントでLEDナンバー灯付。キャリアを豪華に魅せるキャリアプレートはデザイン多様。重厚なアルミ削り出し製で1個8,500円、ダブルディスクに対応する2個セットは15,000円。オリジナルの15.6オンス裏起毛超厚手プルオーバーパーカーも絶賛発売中だ(13,500円/レッド・ホワイト)。

WR2016 夏コレクション

WEST RIDE

☎ 025-526-2415
www.w-river.com/



WRより新製品が続々登場。左からワンナップSSワークシャツ(18,144円)はシンプルなワークシャツをベースに、使い勝手に優れたスナップボタンを採用した半袖シャツ。チョッパーセイブドライフトシャツ(6,696円)はPSYCHO氏によるデザインで東京店の看板ウェア。13スターシャツ(19,224円)は甘然り空の表情豊かなベース生地に、13本のランダム・ストライプを裁身プリントした風合いある一品。空ブレイクデニムで仕上げられたブーニーハット(8,532円)は着脱式のロープ付き。イーグルツアーズアローンTシャツ(6,696円)はKNUCKLE氏によるデザイン。アーミーテイストで高収納力を持つ10ポケットワークパンツ(24,840円)は、打込み本数の多い高密度ミリタリークロスを使用している。

使いやすいツールバッグに注目

NAIL

☎ 03-5378-8340
http://nailtokyo.cart.fc2.com/



オリジナルを中心にチョッパーウェアを幅広く展開するネイルより、ウェア&グッズをご紹介。ビンテージ感が漂うネイルロゴ刺繍長袖チャンブレーシャツ(8,900円/チャンブレーブラック/S~XL)は、ネコ目ボタン、チンスト、マチ付きのお洒落仕上がり。ブラックダラスとのダブルネームであるTシャツ(4,000円/S~XL)はブラックのみ。厚手3.5ミリの国産牛革オイルレザーを使用したオリジナルツールバック(12,800円)は、サイズが横幅約26×高さ11センチ。使い勝手抜群のローラーバックを採用し、裏のベルトも縦と横とで使用できる2ウェイ仕様。弱いとされるサイドとベルトの部分はリベット留めだけでなくステッチも施される。真鍮製キーチェーン(4,000円)は全長約13センチとなっている。

JOINTS CUSTOMBIKE SHOW

モーターサイクル・オンリーとしては日本最大級のショーへと成長を遂げた今年のジョイントスは、記念すべき第10回目。来場者8000人、出展バイク200台と変わらぬ盛況となったが、ここでは次からの10年に向けた提言を皆に伝えたい。

文・写真=渡辺まこと text & photographs by MAKOTO WATANABE
写真=伊藤潤一郎 photographs by JUNICHIRO ITO
取材協力= JOINTS 事務局 phone 0566-73-6113 <http://joints.jp/>

パイプズ誌のピックを獲得したケンスの一台はまさに世界レベルの仕上げ。P44に掲載デス。



コチラは鳥根のバーンフィールドの一台。新店がプロモーションする場としてショーは重要だ。



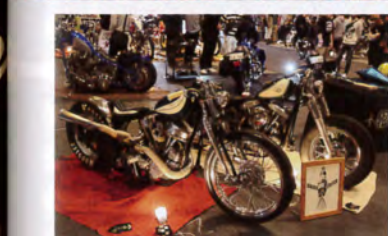
トライジャから出展されたコチラの車両は何とアルミフレーム。まさに極上の一台である。



今回のジョイントズで本誌がピックアップしたのがリスキービジネス。詳細は今号のP46をご覧ください。



SCMの一台は今年、ベストEVOを獲得。コチラのマシンも今号のP40に掲載してマス。



10周年を迎えたジョイントス、変わらぬ姿勢とこの先の未来に向けた展望。

出展バイクの数や観客動員数で「カスタムバイク・オンリー」として日本最大規模を誇る JOINTS も今年でいよいよ10回目。この記念すべきアニバーサリーを去る4月3日(日)に晴天のポートメッセ名古屋で迎えることとなった。朝、会場に到着すると昨年と変わらずに訪れた観客が長蛇の列で並んでおり、聞けば今年の入場者数は8000人。出展カスタムも200台以上と例年どおりの盛り上がりを見せたのだが、ズバリ、ストレートに書いてしまえばショーそのものというより、会場で聞いた一部の声を分析すると、参加する側に「飽き」に似た感情が少しあったのは否めないだろう。

僕、個人は「別に例年と変わらずお客さんも凄く数じゃん」と思っていたのでイマイチ、ピンとこなかったのが本音だが、何せ10年。人間の本能というヤツを考えると致し方ないのかもしれないが、しかし、だからこそ、この先も変わらずにショーを盛り上げ続けなければ、きっと業界が閉塞感に包まれてしまうだろう。そこは避けなければならない。主催の高橋氏自身も様々な意見を真摯に受け止め、原点復帰を見据えているとのこと。次回はショベルの参加を募り、Chopper Showとしての色をより強める予定とのことだ。来年は振り出しに戻る11年目……勝負の年に期待したい。